

# 2024/Autumn Start Line

図書部 & 進路指導部からの  
進路情報を発信します。

夏休み中に取り組んだ課題や、入試勉強で、「この教科苦手だな。」と思っている人、あきらめないでください。図書館には、教科学習に役立つ本がたくさんあります。

**人気作家による現代語訳！！**  
『日本文学全集』



古典は苦手という人にぜひ、読んでもらいたいシリーズです。「源氏物語」(角田光代 訳)「枕草子」(酒井順子 訳)「宇治拾遺物語」(町田康 訳)、「平家物語」(古川日出男 訳)、人気作家によるとても読みやすい現代語訳になっています。入試は、どの作品のどこが出るかはわかりませんが、もし訳を知っていれば、こんなにラッキーな事はありませんよね。物語としても十分に楽しめる全集です。全29巻。授業で習った作品から、読んでみてください。

**漫画版『日本の歴史』『世界の歴史』**  
集英社・学研・小学館・角川版それぞれ内容に特徴があるので、読み比べてみるのも面白いかも！！



歴史が苦手な人には、漫画がおすすめです。日本史、世界史の大まかな全体の流れをつかみたい人には、ピッタリの本だと思います。「ビリギャル」の坪田先生も、推薦しています。

**英語多読におすすめ！！**

『DORAEMON』『Case Closed(名探偵コナン)』『Demon Slayer(鬼滅の刃)』『The Neighborhood Totoro(隣のトトロ)』など、たくさんのアニメ作品英語版があります。



『鬼滅の刃』のタイトルは、そのまま訳せば「Demon Slaying Blade(悪鬼を殺すための刀)」となりますが、この作品は、鬼を退治する人に注目しているので、「Slayer(討伐者)」を使用しているそうです。こんな風に日本語と比べながら読むと、英語版もおもしろいですね。

**今、注目の「地政学」って何？！**

最近目にする機会が急増しているのが「地政学」です。国や国同士の過去の出来事やいま起きていることを、地理的な側面から読み解いていくのが「地政学」だそうです。1990年代に、西側自由主義諸国と東側社会主義国による対立、いわゆる東西冷戦は終了しました。ただ、その後も世界は平和になったわけではなく、領土問題や民族問題など新たな対立や紛争が絶えまなく起きています。2022年には、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が世界的な問題となっています。世界のさまざまな問題をどう理解すればいいのか。地理的にも離れた他国の政治や戦略はわかりにくいものですが、「地政学」に照らしてみると複雑な対立や紛争の構図を整理することができると考えられているようです。

